

令和5年度県民満足度調査  
同時調査結果報告書  
(人生の最終段階における医療等編)

令和5(2023)年8月  
岡山県



# 目 次

## 第 I 部 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の方法等	1
3	集計・分析方法	2
4	報告書の見方	2

## 第 II 部 調査結果

### 1 あなたご自身について

問 1 (1)	性別及び年齢階層	3
問 1 (2)	世帯構成	3
問 1 (3)	同居の子どもの有無	3
問 1 (4)	子どもの成長段階	4
問 1 (5)	居住地域 (県民局)	4
問 1 (6)	居住地域 (医療圏域)	4
問 1 (7)	県内での通算居住年数	4
問 1 (8)	職業	5

### 2 人生の最終段階における医療等について

問 23	介護を受けたい場所	6
問 24	死が近い場合の医療について考えた経験	8
問 25	死が近い場合の医療に関する家族などとの話し合い	10
問 25-1	死が近い場合の医療に関する話し合いをしたことのない理由	13
問 26	余命が短い場合の延命医療の意向	15
問 27	余命が短い場合に療養・最期を迎えたい場所	20



# 第 I 部 調査の概要

## 1 調査の目的

令和3年度からの県政推進の羅針盤として策定した「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」に掲げる項目に関連した県民満足度と、県施策の重要性についての県民の意向を把握し、今後の施策展開の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を行った。

## 2 調査の方法等

- |           |   |
|-----------|---|
| (1) 調査地域  | 岡山県内市町村                                     |
| (2) 調査対象者 | 岡山県内市町村在住の18歳以上の男女（令和5年4月1日現在）<br>2,500人    |
| (3) 調査方法  | 住民基本台帳から無作為抽出して調査票を郵送配布<br>回収（インターネット回答と併用） |
| (4) 回収結果  | 1,165人（回答率 46.6%）                           |
| (5) 調査期間  | 令和5年5月31日（水）～6月15日（木）                       |

### 3 集計・分析方法

本調査では、回答者の年齢階層の偏りを補正するため、年齢区分ごとの母集団の構成比に合わせてデータに重み付けをするウェイトバック集計を行った。報告書中の値は、ウェイトバック集計後の値を掲載している。

年齢区分	推定母集団		有効回答数		補正值 (①/②)
	人数(人)	構成比(%) ①	人数(人)	構成比(%) ②	
20代以下	208,647	13.6	90	7.7	1.75088
30代	192,053	12.5	129	11.1	1.12439
40代	252,134	16.4	170	14.6	1.12013
50代	218,862	14.2	165	14.2	1.00178
60代	228,828	14.9	193	16.6	0.89544
70代以上	438,054	28.5	415	35.7	0.79720
合計	1,538,578	100.0	1,162	100.0	-

(注1) 推定母集団は令和2年10月1日現在の国勢調査から算出。

(注2) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

(注3) 補正值は小数点以下を含んだ各構成比から算出しており、小数点以下第6位を四捨五入した各構成比から算出。

(注4) 総回収数1,165のうち、年齢についての未回答数は3。

### 4 報告書の見方

1. 回答者数は、ウェイトバック集計を行い小数点以下第1位を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
2. 比率については小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率が0.05未満の場合には0.0として扱っている。また、この四捨五入のため、比率計がちょうど100.0とならない場合がある。
3. グラフの中の計はその項目の回答者の実数で、比率算出の基数となる。
4. 複数回答が可能な項目については、原則として、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、比率計は100.0%を超えている。
5. 報告書中の図表では、表記の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
6. 報告書中の図表では、回答選択肢の中で最大値に網掛けをしている。

## 第Ⅱ部 調査結果

### 1 あなたご自身について

#### ■問1(1) 年齢階層及び性別

単位:上段は人、下段の( )内は%

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計
男性	61 (12.8)	66 (13.9)	65 (13.6)	60 (12.6)	87 (18.2)	139 (29.0)	-	478 (41.0)
女性	95 (14.0)	79 (11.7)	124 (18.5)	104 (15.5)	86 (12.8)	184 (27.4)	1 (0.1)	673 (57.8)
その他・無回答	2 (12.7)	-	1 (8.1)	1 (7.2)	-	8 (57.6)	2 (14.4)	14 (1.2)
計	158 (13.5)	145 (12.5)	190 (16.3)	165 (14.2)	173 (14.8)	331 (28.4)	3 (0.3)	1,165 (100.0)

(注1)「20代以下」は、18~29歳である

#### <参考>岡山県の年齢別人口構成

単位:( )内は%

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
構成比	(13.6)	(12.5)	(16.4)	(14.2)	(14.9)	(28.5)	(100.0)

(注)上記構成比は、令和2年10月1日現在の国勢調査から算出

#### ■問1(2) 世帯構成

単位:上段は人、下段の( )内は%

	ひとり暮らし	夫婦のみ	親・子の二世帯	親・子・孫の三世帯	その他	無回答	計
構成比	143 (12.3)	283 (24.3)	582 (50.0)	122 (10.5)	26 (2.2)	9 (0.7)	1,165 (100.0)

#### <参考>岡山県の家族構成

単位:( )内は%

構成比	親族世帯全体(69.0)					非親族世帯	単独世帯	不詳	計
	核家族世帯全体(58.1)				その他の親族世帯				
	夫婦のみの世帯	夫婦と子供から成る世帯	男親と子供から成る世帯	女親と子供から成る世帯					
	(20.3)	(25.3)	(1.3)	(7.5)	(8.3)	(0.8)	(35.6)	(0.8)	(100.0)

(注)上記構成比は、令和2年10月1日現在の国勢調査から算出

#### ■問1(3) 同居の子どもの有無

単位:上段は人、下段の( )内は%

	子どもがいる	子どもはいない	無回答	計
構成比	502 (43.1)	603 (51.8)	60 (5.1)	1,165 (100.0)

■問 1 (4) 子どもの成長段階

単位：上段は人、下段の( )内は%

	小学校 入学前	小学生	中学生	高校生・大 学受験生	短大、大学、 大学院、 専門学校 などの学生	社会人	その他	無回答	計
構成比	107 (21.4)	114 (22.7)	66 (13.1)	71 (14.2)	55 (11.0)	226 (45.0)	25 (4.9)	2 (0.5)	502 (100.0)

■問 1 (5) 居住地域 (県民局)

単位：上段は人、下段の( )内は%

地 域	回答者数	配布者数
備前地域 (岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	557 (47.8)	1,195 (47.8)
備中地域 (倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、 早島町、里庄町、矢掛町)	450 (38.6)	1,010 (40.4)
美作地域 (津山市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、 西粟倉村、久米南町、美咲町)	146 (12.5)	295 (11.8)
無回答	12 (1.2)	
合計	1,165 (100.0)	2,500 (100.0)

■問 1 (6) 居住地域 (医療圏域)

単位：上段は人、下段の( )内は%

地 域	回答者数	配布者数
県南東部 (岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、 吉備中央町)	557 (47.8)	1,195 (47.8)
県南西部 (倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、 矢掛町)	408 (35.0)	934 (37.4)
高梁・新見 (高梁市、新見市)	42 (3.6)	76 (3.0)
真庭 (真庭市、新庄村)	37 (3.2)	62 (2.5)
津山・英田 (津山市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、 美咲町)	109 (9.4)	233 (9.3)
無回答	12 (1.2)	
合計	1,165 (100.0)	2,500 (100.0)

■問 1 (7) 県内での通算居住年数

単位：上段は人、下段の( )内は%

	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無回答	計
構成比	59 (5.1)	41 (3.5)	125 (10.8)	931 (79.9)	9 (0.8)	1,165 (100.0)



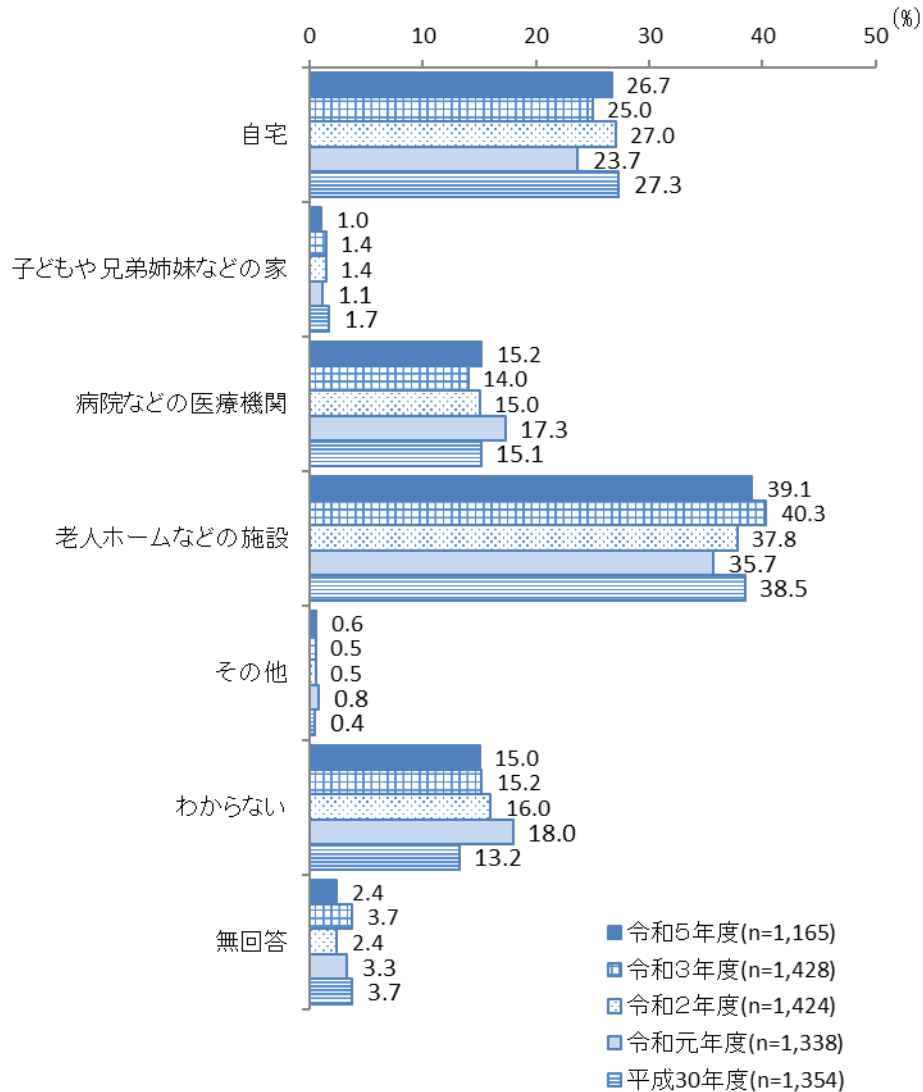
■問 1 ( 8 ) 職業

単位：上段は人、下段の( )内は%

	自営業(農 林漁業、商 工サービス 業などで、 家族従業 者を含む)	会社・団体 などの正社 員(正職 員)	会社・団体 などの役員	パートタイ マー、アル バイト、契 約社員 など	専業主婦 (主夫)	学生	無職	無回答	計
構成比	89 (7.7)	392 (33.6)	31 (2.7)	201 (17.3)	122 (10.5)	43 (3.7)	274 (23.6)	12 (1.0)	1,165 (100.0)

## 2 人生の最終段階における医療等について

- 問 23 あなたが高齢となり、日常生活を送る上で介護が必要な状態（自分一人では身の回りのことをするのが困難）になった場合、どこで介護を受けたいですか。最もあてはまる番号1つに○印をつけてください。



### ○前年度との比較

#### ◆上昇

- 「自宅」（前年度差 1.7）
- 「病院などの医療機関」（前年度差 1.2）
- 「その他」（前年度差 0.1）

#### ◆低下

- 「子どもや兄弟姉妹などの家」（前年度差▲0.4）
- 「老人ホームなどの施設」（前年度差▲1.2）
- 「わからない」（前年度差▲0.2）

## 【介護を受けたい場所】

(%)

	全体	自宅	子どもや兄弟姉妹など	病院などの医療機関	設 老人ホームなどの施	その他	わからない	無回答
全体	全体 n= 1,165	26.7	1.0	15.2	39.1	0.6	15.0	2.4
性別	男性 n= 478	31.8	1.1	15.9	32.4	0.3	15.8	2.7
	女性 n= 673	23.1	0.9	14.5	44.0	0.8	14.5	2.1
年齢階層	10代 n= 28	50.0	12.5	6.3	12.5	-	18.8	-
	20代 n= 130	23.0	4.1	9.5	43.2	1.4	17.6	1.4
	30代 n= 145	18.6	-	13.2	47.3	-	20.2	0.8
	40代 n= 190	21.2	-	14.7	46.5	0.6	15.9	1.2
	50代 n= 165	28.5	0.6	11.5	37.6	0.6	20.0	1.2
	60代 n= 173	28.5	-	16.1	38.9	0.5	13.5	2.6
	70代以上 n= 331	30.8	0.5	21.0	32.8	0.7	9.4	4.8
年齢階層 (再掲)	60代以上 n= 504	30.0	0.3	19.3	34.9	0.7	10.8	4.1
世帯構成	ひとり暮らし n= 143	19.6	0.6	19.0	34.7	1.2	20.8	4.1
	夫婦のみ n= 283	31.5	-	16.3	36.7	0.6	12.3	2.7
	親・子の二世帯 n= 582	25.5	1.2	15.1	42.2	0.5	13.8	1.7
	親・子・孫の三世帯 n= 122	33.0	1.4	10.8	35.0	-	17.8	2.0
	その他 n= 26	17.4	6.8	11.7	39.8	3.1	18.2	3.1
同居の子ども	子どもがいる n= 502	25.9	0.4	12.1	44.0	0.5	14.5	2.6
	子どもはいない n= 603	27.5	1.6	17.0	35.6	0.6	15.8	1.9
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 557	28.1	0.9	13.8	38.3	0.7	15.7	2.5
	備中地域 n= 450	27.0	0.6	17.0	38.5	0.6	14.2	2.1
	美作地域 n= 146	20.6	2.4	14.7	44.2	0.6	15.2	2.3
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 557	28.1	0.9	13.8	38.3	0.7	15.7	2.5
	県南西部 n= 408	27.3	0.4	17.8	37.4	0.6	14.1	2.3
	高梁・新見 n= 42	24.1	2.4	8.6	49.8	-	15.2	-
	真庭 n= 37	7.3	4.7	13.9	50.0	2.4	17.2	4.5
	津山・英田 n= 109	25.1	1.6	15.0	42.2	-	14.6	1.6
居住年数	5年未満 n= 59	39.1	3.0	6.8	31.1	-	15.5	4.5
	5年以上10年未満 n= 41	11.4	-	17.2	54.7	-	14.7	2.0
	10年以上20年未満 n= 125	29.4	4.2	11.3	38.2	-	16.9	-
	20年以上 n= 931	26.3	0.5	16.1	39.2	0.8	14.7	2.5
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 89	38.3	-	9.0	30.0	1.3	16.9	4.6
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 392	24.3	0.7	13.4	42.6	0.4	16.9	1.7
	会社・団体などの役員 n= 31	35.5	-	17.7	43.9	-	2.9	-
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 201	22.8	-	15.0	45.0	0.5	15.3	1.4
	専業主婦(主夫) n= 122	21.8	-	22.4	41.9	0.7	11.7	1.5
	学生 n= 43	36.4	16.2	8.1	16.2	-	23.0	-
	無職 n= 274	29.8	0.6	17.5	34.7	0.9	12.4	4.1

### ○介護を受けたい場所について

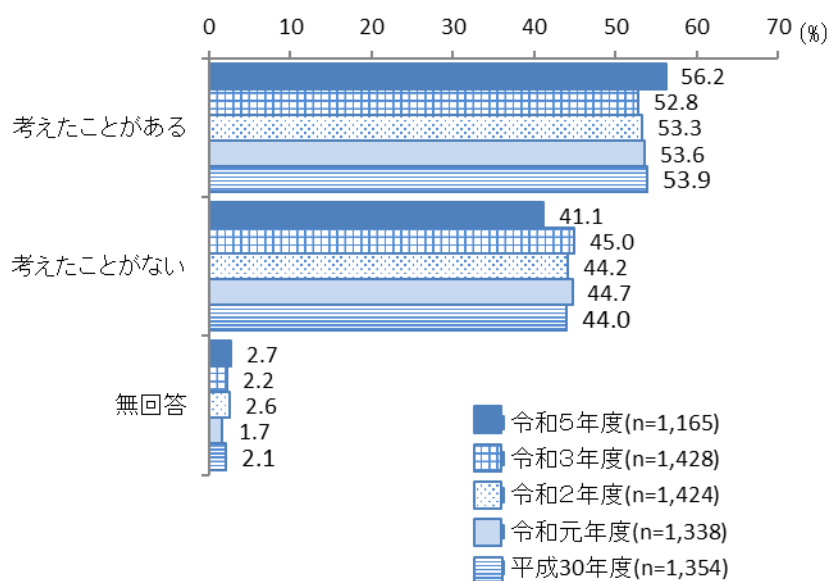
全体では「老人ホームなどの施設」との回答が最も高く、次いで「自宅」という順となっている。

性別にみると、女性では「老人ホームなどの施設」(44.0%)との回答が「自宅」(23.1%)との回答を20.9ポイント以上上回っているものの、男性では「老人ホームなどの施設」(32.4%)との回答が「自宅」(31.8%)との回答を0.6ポイント上回っているにすぎず、差はほとんどみられない。

年齢階層別にみると、「老人ホームなどの施設」との回答は30代、40代で約5割と高くなっている。一方で、10代は「自宅」が5割となっている。

職業別にみると「老人ホームなどの施設」との回答が自営業、学生を除き最も高くなっている。自営業、学生は「自宅」との回答が最も高くなっている。専業主婦(主夫)では「病院などの医療機関」(22.4%)との回答が、「自宅」(21.8%)との回答を0.6ポイント上回っており、「老人ホームなどの施設」に次いで高くなっている。

■問 24 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、これまで考えたことがありますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

「考えたことがある」(前年度差 3.4)

◆低下

「考えたことがない」(前年度差▲3.9)

## 【死が近い場合の医療について考えた経験】

(%)

		全 体	考 え た こ と が あ る	考 え た こ と が な い	無 回 答
全体	全体 n= 1,165	56.2	41.1	2.7	
性別	男性 n= 478	46.2	51.3	2.5	
	女性 n= 673	63.4	33.8	2.8	
年齢階層	10代 n= 28	37.5	62.5	-	
	20代 n= 130	45.9	52.7	1.4	
	30代 n= 145	48.1	51.2	0.8	
	40代 n= 190	58.2	40.6	1.2	
	50代 n= 165	51.5	47.3	1.2	
	60代 n= 173	60.1	37.3	2.6	
	70代以上 n= 331	64.6	29.4	6.0	
年齢階層 (再掲)	60代以上 n= 504	63.0	32.1	4.8	
世帯構成	ひとり暮らし n= 143	57.8	36.2	6.0	
	夫婦のみ n= 283	59.1	38.8	2.0	
	親・子の二世帯 n= 582	55.4	42.7	1.9	
	親・子・孫の三世帯 n= 122	52.8	43.6	3.6	
	その他 n= 26	47.5	49.4	3.1	
同居の子ども	子どもがいる n= 502	54.1	42.9	3.0	
	子どもはいない n= 603	58.3	39.5	2.1	
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 557	54.4	42.3	3.3	
	備中地域 n= 450	57.3	40.7	2.0	
	美作地域 n= 146	59.8	37.8	2.4	
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 557	54.4	42.3	3.3	
	県南西部 n= 408	57.4	40.6	2.0	
	高梁・新見 n= 42	56.3	41.8	1.9	
	真庭 n= 37	50.4	47.5	2.1	
	津山・英田 n= 109	63.0	34.5	2.5	
居住年数	5年未満 n= 59	49.3	46.2	4.5	
	5年以上10年未満 n= 41	50.5	49.5	-	
	10年以上20年未満 n= 125	49.0	51.0	-	
	20年以上 n= 931	58.1	39.0	2.9	
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 89	64.6	32.7	2.7	
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 392	50.9	47.1	2.0	
	会社・団体などの役員 n= 31	54.2	45.8	-	
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 201	59.7	38.5	1.8	
	専業主婦(主夫) n= 122	61.9	34.8	3.3	
	学生 n= 43	40.5	59.5	-	
	無職 n= 274	57.8	37.8	4.4	

### ○死が近い場合の医療について考えた経験について

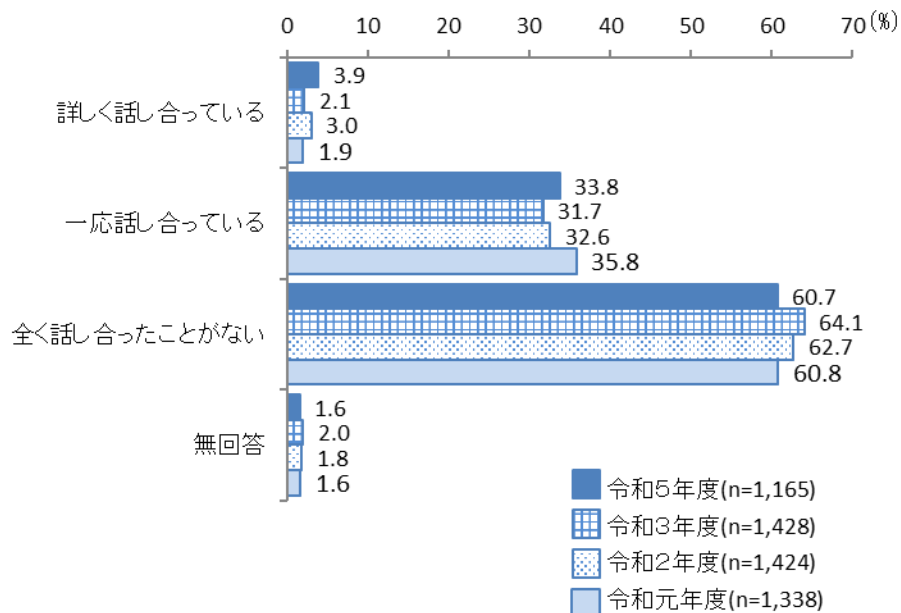
全体では「考えたことがある」(56.2%)が「考えたことがない」(41.1%)を15.1ポイント上回っている。

性別にみると、男性は「考えたことがない」との回答が、「考えたことがある」との回答より高くなっており、女性に比べ男性の関心が低いことがうかがえる。

年齢階層別にみると、40代以上で「考えたことがある」との回答が高くなり、60代と70代以上では6割を超えている。

職業別でみると、学生は「考えたことがない」との回答が「考えたことがある」との回答を上回っている。

■問 25 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族又は医療介護関係者などとのくらい話し合ったことがありますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

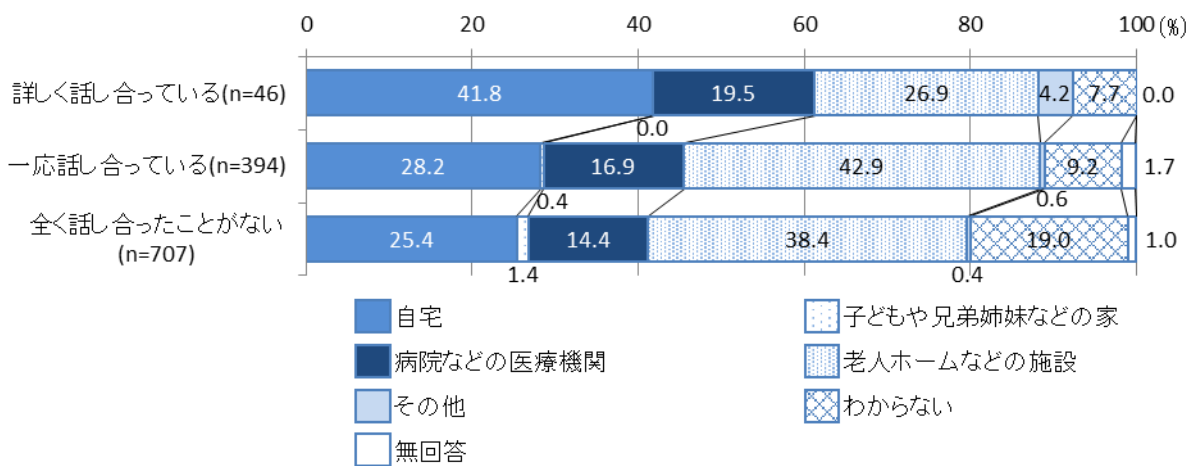
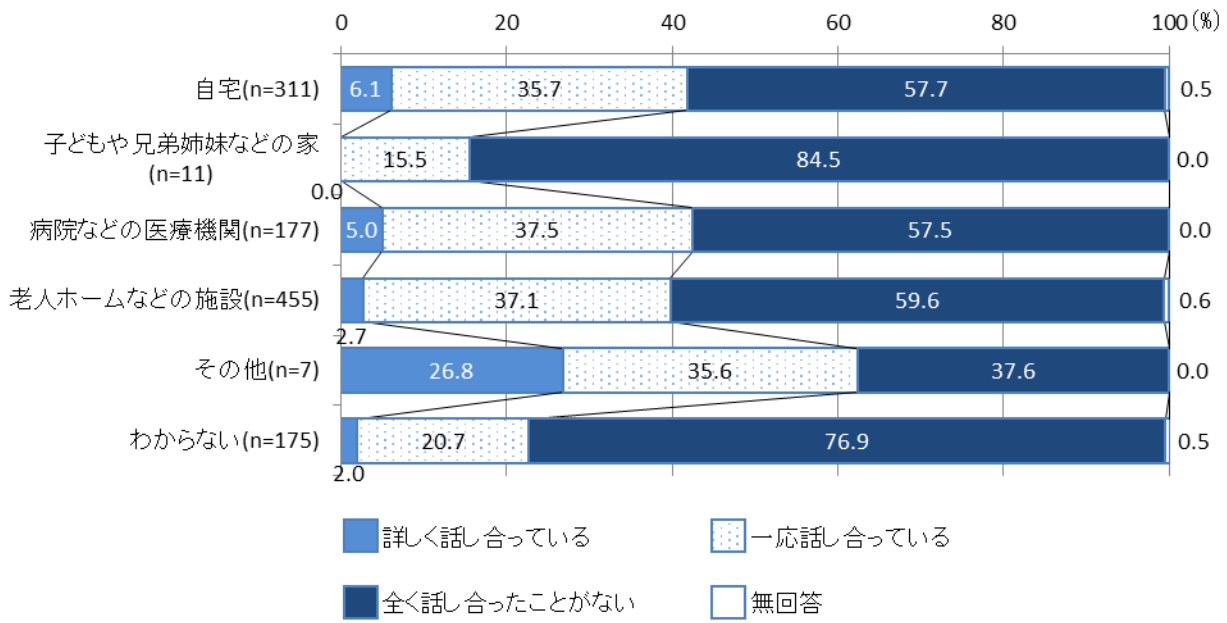
「詳しく話し合っている」(前年度差 1.8)

「一応話し合っている」(前年度差 2.1)

◆低下

「全く話し合ったことがない」(前年度差▲3.4)

<問 23 とのクロス集計>



## 【死が近い場合の医療に関する家族などとの話し合い】

(%)

		全 体	詳 しく 話 し 合 っ て い る	一 応 話 し 合 っ て い る	全 く 話 し 合 っ た こ と が な い	無 回 答
全体	全体	n= 1,165	3.9	33.8	60.7	1.6
性別	男性	n= 478	4.1	27.0	66.5	2.4
	女性	n= 673	3.9	38.5	56.7	0.9
年齢階層	10代	n= 28	12.5	25.0	62.5	-
	20代	n= 130	9.5	21.6	67.6	1.4
	30代	n= 145	0.8	20.2	79.1	-
	40代	n= 190	2.9	32.9	63.5	0.6
	50代	n= 165	3.6	26.7	68.5	1.2
	60代	n= 173	1.6	42.5	54.4	1.6
年齢階層	(再掲) 60代以上	n= 504	3.4	44.2	49.7	2.7
世帯構成	ひとり暮らし	n= 143	8.7	27.1	60.1	4.1
	夫婦のみ	n= 283	4.1	42.3	52.1	1.6
	親・子の二世帯	n= 582	3.3	30.9	64.8	1.0
	親・子・孫の三世帯	n= 122	1.5	32.3	65.6	0.7
	その他	n= 26	3.1	48.5	45.4	3.1
同居の子ども	子どもがいる	n= 502	1.9	33.2	63.3	1.5
	子どもはいない	n= 603	5.8	32.6	60.0	1.5
居住地域① (県民局)	備前地域	n= 557	4.7	34.4	59.1	1.8
	備中地域	n= 450	3.2	34.1	61.5	1.2
	美作地域	n= 146	3.6	30.5	64.3	1.7
居住地域② (医療圏域)	県南東部	n= 557	4.7	34.4	59.1	1.8
	県南西部	n= 408	3.3	34.9	60.7	1.1
	高梁・新見	n= 42	1.9	26.5	69.7	1.9
	真庭	n= 37	-	31.1	66.7	2.1
	津山・英田	n= 109	4.8	30.2	63.4	1.6
居住年数	5年未満	n= 59	12.7	29.8	53.0	4.5
	5年以上10年未満	n= 41	2.0	25.5	72.5	-
	10年以上20年未満	n= 125	2.3	31.2	66.6	-
	20年以上	n= 931	3.7	34.9	59.8	1.6
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む)	n= 89	4.8	34.9	59.4	0.9
	会社・団体などの正社員(正職員)	n= 392	5.1	26.0	67.5	1.4
	会社・団体などの役員	n= 31	-	40.1	56.6	3.2
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など	n= 201	1.7	35.0	62.9	0.4
	専業主婦(主夫)	n= 122	1.6	46.5	51.2	0.7
	学生	n= 43	12.2	18.8	69.0	-
	無職	n= 274	3.8	40.0	53.3	2.9

### ○死が近い場合の医療に関する家族などとの話し合いについて

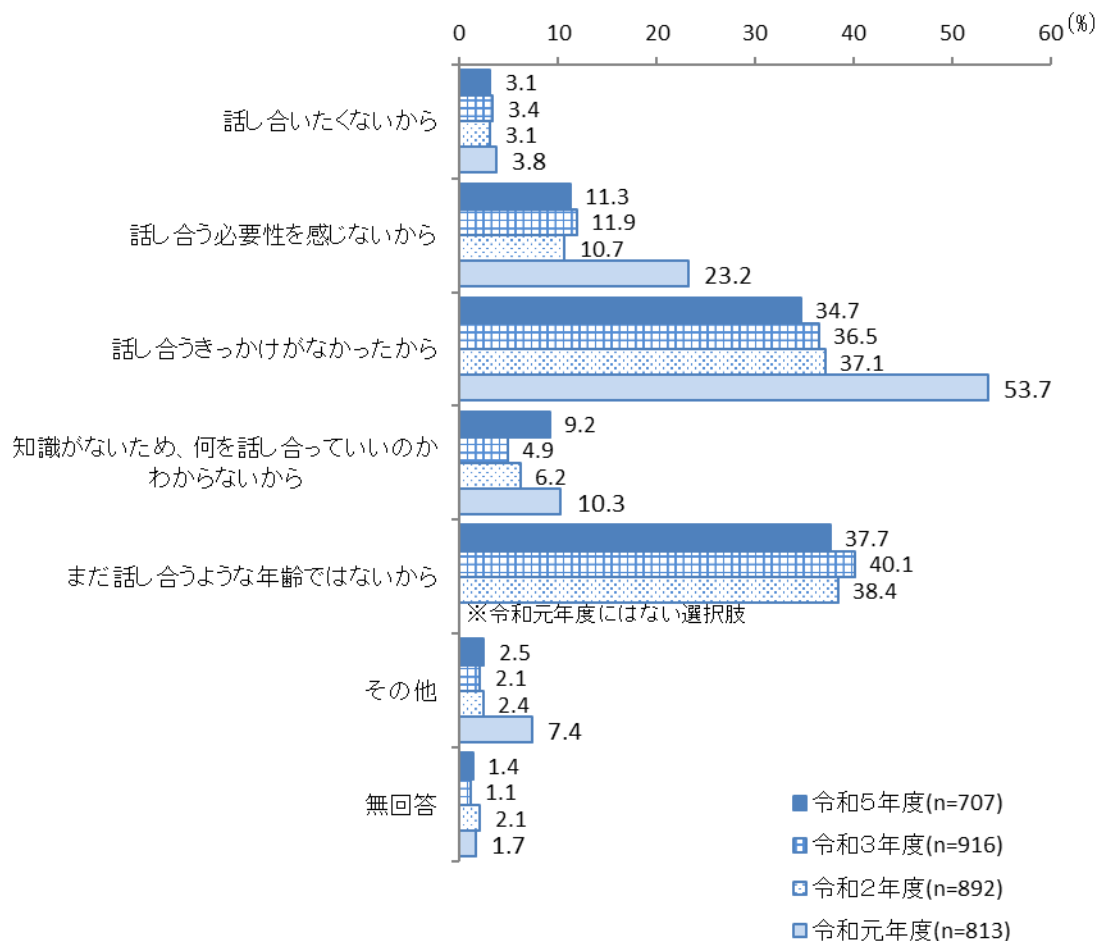
全体では「全く話し合ったことがない」との回答が6割を超え最も高くなっている。

性別にみると、「一応話し合っている」との回答は女性(38.5%)が男性(27.0%)を11.5ポイント上回っている。一方で、「詳しく話し合っている」との回答は男性(4.1%)が女性(3.9%)を0.2ポイント上回っている。

年齢階層別にみると、「全く話し合ったことがない」との回答は30代で約8割と最も高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられ、60代以上では「全く話し合ったことがない」との回答は約5割となっている。



- 問 25-1 問 25 で「3. 全く話し合ったことがない」に○印をつけた方におたずねします。  
話し合ったことがない理由は何ですか。あてはまる番号 1 つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

「知識がないため、何を話し合っているかわからないから」(前年度差 4.3)

「その他」(前年度差 0.4)

◆低下

「話し合いたくないから」(前年度差▲0.3)

「話し合う必要性を感じないから」(前年度差▲0.6)

「話し合うきっかけがなかったから」(前年度差▲1.8)

「まだ話し合うような年齢ではないから」(前年度差▲2.4)

## 【死が近い場合の医療に関する話し合いをしたことのない理由】

(%)

	全 体	ら 話 し 合 い た く な い か	じ 話 し 合 う 必 要 性 を 感	な 話 し 合 う き つ か け が	か を 話 し 合 う た め 、 何	年 ま だ 話 し 合 う よ う な	そ の 他	無 回 答
全体	全体 n= 707	3.1	11.3	34.7	9.2	37.7	2.5	1.4
性別	男性 n= 318	3.0	14.9	32.3	8.9	38.5	1.9	0.5
	女性 n= 382	3.2	7.9	36.1	9.7	37.8	3.1	2.2
年齢階層	10代 n= 17	-	-	10.0	-	80.0	-	10.0
	20代 n= 88	2.0	12.0	12.0	6.0	64.0	2.0	2.0
	30代 n= 115	4.9	10.8	24.5	7.8	51.0	-	1.0
	40代 n= 121	-	5.6	33.3	8.3	50.0	1.9	0.9
	50代 n= 113	2.7	9.7	46.9	9.7	26.5	4.4	-
	60代 n= 94	2.9	12.4	40.0	9.5	31.4	1.9	1.9
年齢階層 (再掲)	70代以上 n= 156	5.6	17.9	45.4	13.3	11.7	4.6	1.5
年齢階層 (再掲)	60代以上 n= 250	4.6	15.8	43.4	11.9	19.1	3.6	1.7
	ひとり暮らし n= 86	7.2	16.0	37.4	5.2	26.2	5.1	2.9
	夫婦のみ n= 147	3.3	9.9	45.2	8.0	31.3	1.8	0.5
	親・子の二世帯 n= 377	2.9	9.8	30.4	10.5	43.6	1.5	1.3
	親・子・孫の三世帯 n= 80	-	17.2	28.7	8.7	37.8	5.4	2.2
同居の子ども	その他 n= 12	-	8.5	52.3	18.0	14.4	6.8	-
同居の子ども	子どもがいる n= 318	2.1	11.2	33.0	8.9	40.5	2.0	2.3
	子どもはいない n= 362	3.4	12.1	35.0	9.2	36.8	2.8	0.7
	備前地域 n= 329	4.1	10.3	32.0	10.3	40.8	1.7	0.9
居住地① (県民局)	備中地域 n= 277	2.6	13.2	37.8	7.5	34.4	2.9	1.6
	美作地域 n= 94	1.2	10.4	32.2	10.3	38.6	4.6	2.8
	県南東部 n= 329	4.1	10.3	32.0	10.3	40.8	1.7	0.9
居住地② (医療圏域)	県南西部 n= 248	1.8	11.7	37.8	8.0	36.2	2.8	1.8
	高梁・新見 n= 29	9.6	26.3	37.8	3.1	19.4	3.8	-
	真庭 n= 25	-	8.6	28.0	12.6	47.2	-	3.6
	津山・英田 n= 69	1.6	11.0	33.6	9.4	35.5	6.2	2.5
	5年未満 n= 31	-	12.1	27.6	3.6	56.8	-	-
居住年数	5年以上10年未満 n= 30	-	7.6	21.6	3.8	67.0	-	-
	10年以上20年未満 n= 83	-	4.2	30.7	7.6	52.7	1.3	3.4
	20年以上 n= 557	3.9	12.7	36.3	9.8	33.3	3.0	1.0
	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 53	5.7	8.7	47.5	8.1	26.2	2.1	1.7
職業	会社・団体などの正社員(正職員) n= 265	3.0	10.3	30.7	5.6	49.3	0.8	0.4
	会社・団体などの役員 n= 18	-	26.8	21.7	5.7	45.9	-	-
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 127	1.4	8.2	35.5	10.6	36.8	4.6	2.9
	専業主婦(主夫) n= 63	4.1	8.3	47.1	7.1	29.2	4.1	-
	学生 n= 30	-	5.9	11.8	-	76.5	-	5.8
	無職 n= 146	3.9	18.0	36.7	18.5	16.7	4.4	1.7

### ○死が近い場合の医療に関する話し合いをしたことのない理由について

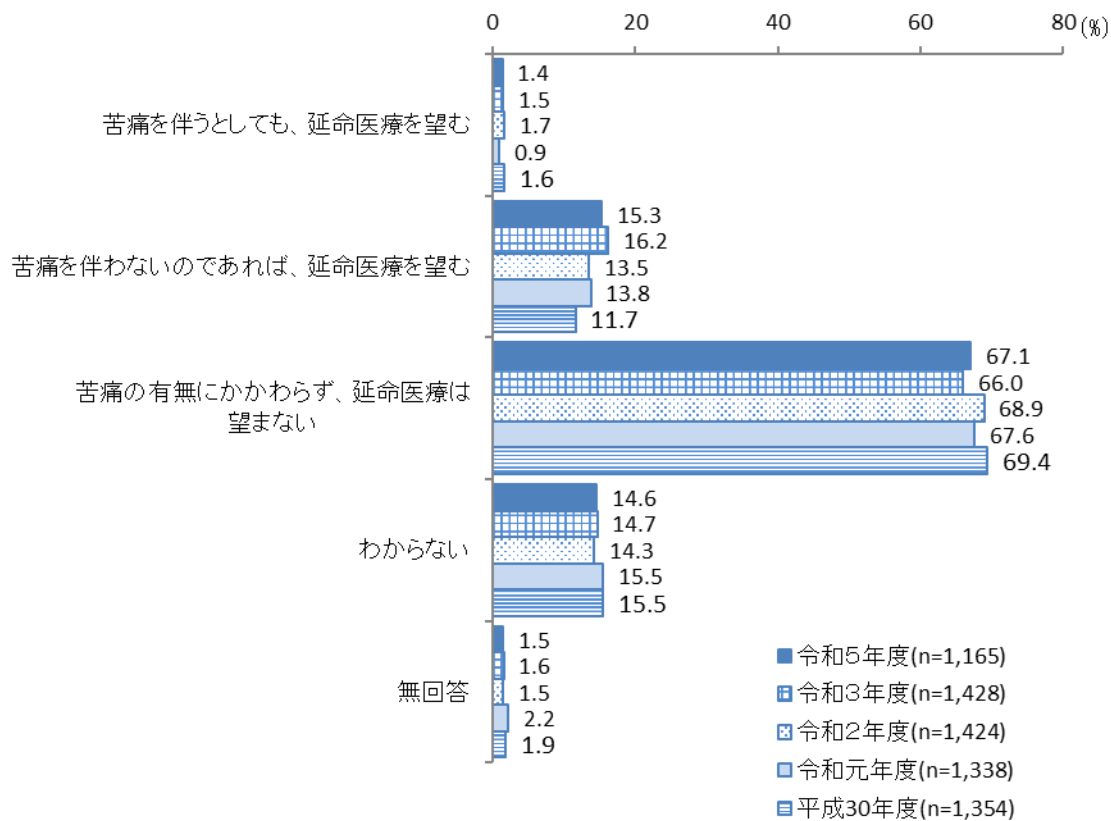
全体では、「まだ話し合うような年齢ではないから」との回答が約4割と高くなっている。

性別にみると、男女ともに「まだ話し合うような年齢ではないから」との回答が最も高くなっている。

年齢階層別にみると、10～40代までで「まだ話し合うような年齢ではないから」との回答が高く、50～70代以上では「話し合うきっかけがなかったから」との回答が高くなっている。

職業別にみると、自営業、専業主婦(主夫)と無職で「話し合うきっかけがなかったから」との回答が「まだ話し合うような年齢ではないから」との回答を上回っている。会社・団体などの役員では、「話し合う必要性を感じないから」(26.8%)が「話し合うきっかけがなかったから」(21.7%)を5.1ポイント上回っており、「まだ話し合うような年齢ではないから」について2番目に高くなっている。

■問 26 あなたは、ご自身の死が目前に迫っており、どのような治療によっても回復する見込みがない場合に、延命医療を望みますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

「苦痛の有無にかかわらず、延命治療は望まない」(前年度差 1.1)

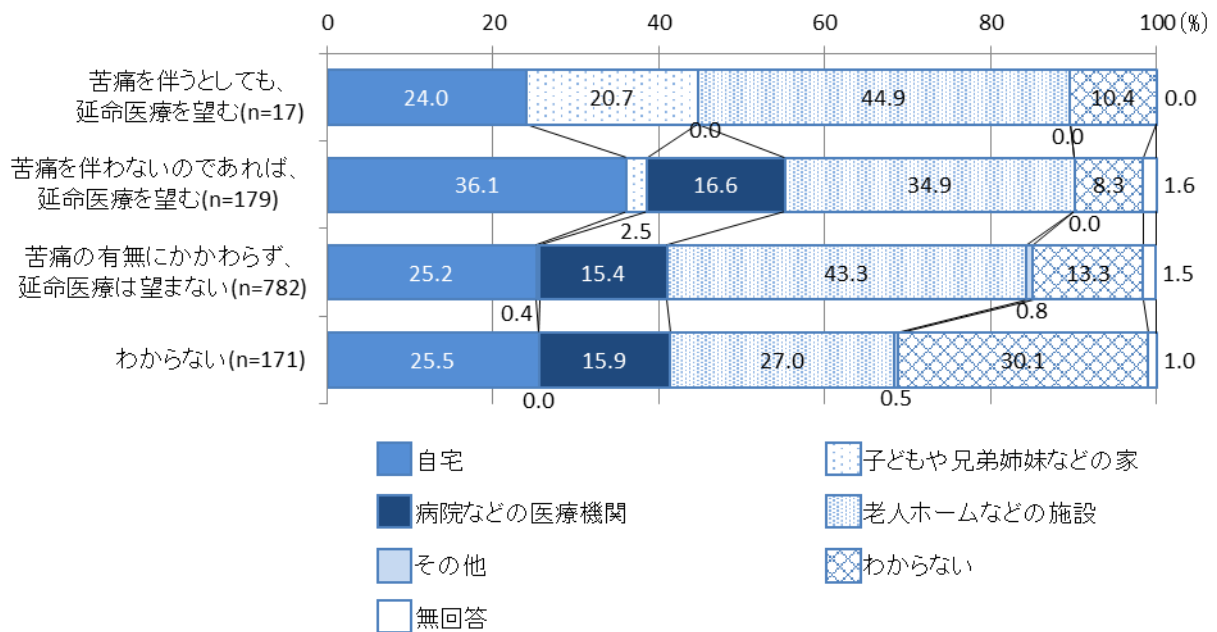
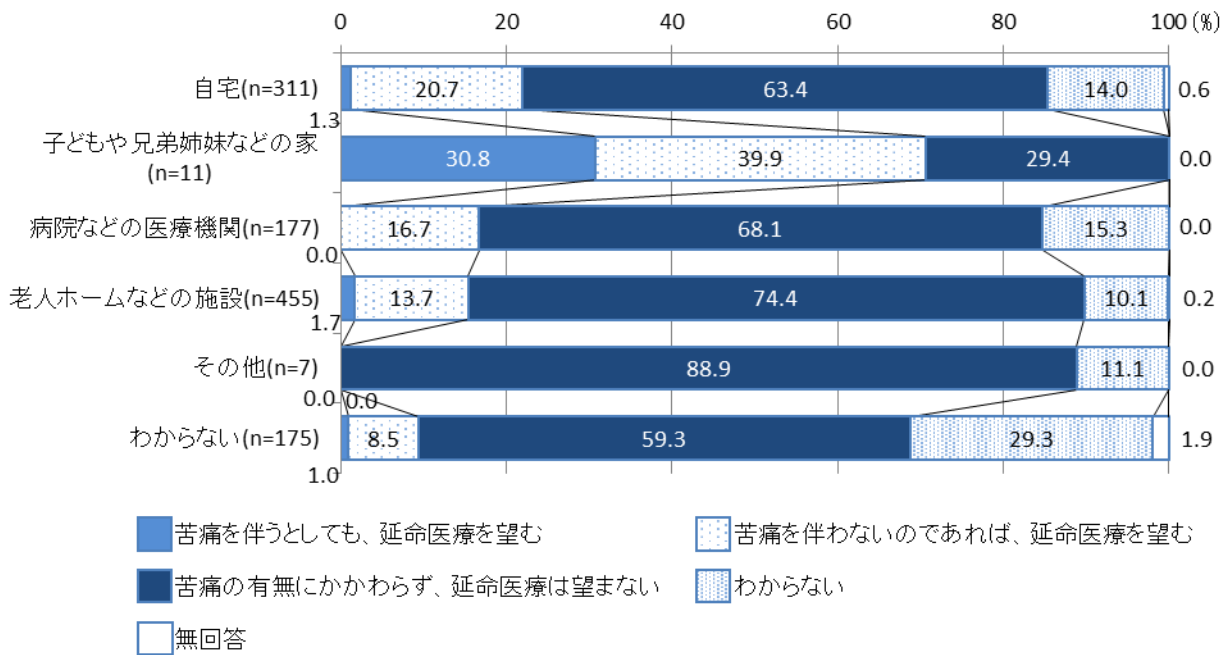
◆低下

「苦痛を伴うとしても、延命医療を望む」(前年度差▲0.1)

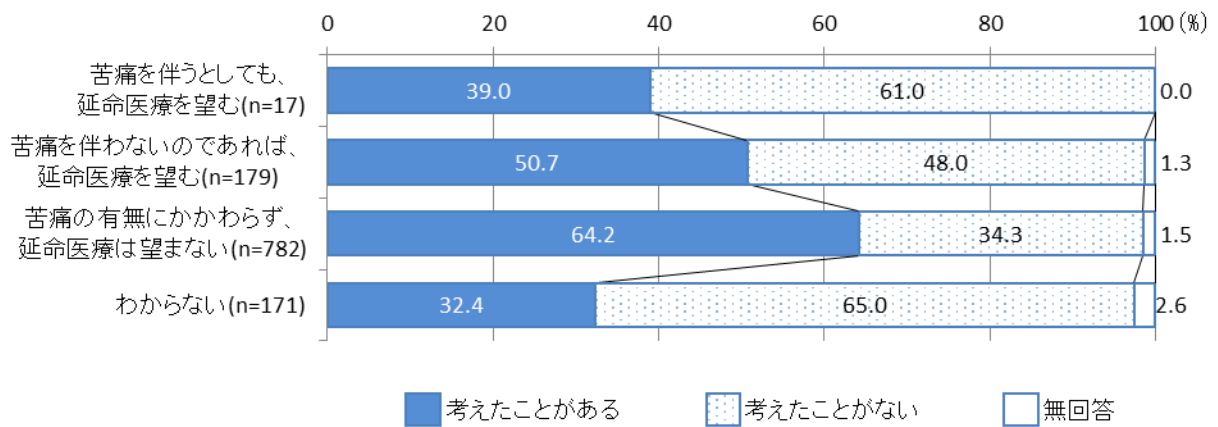
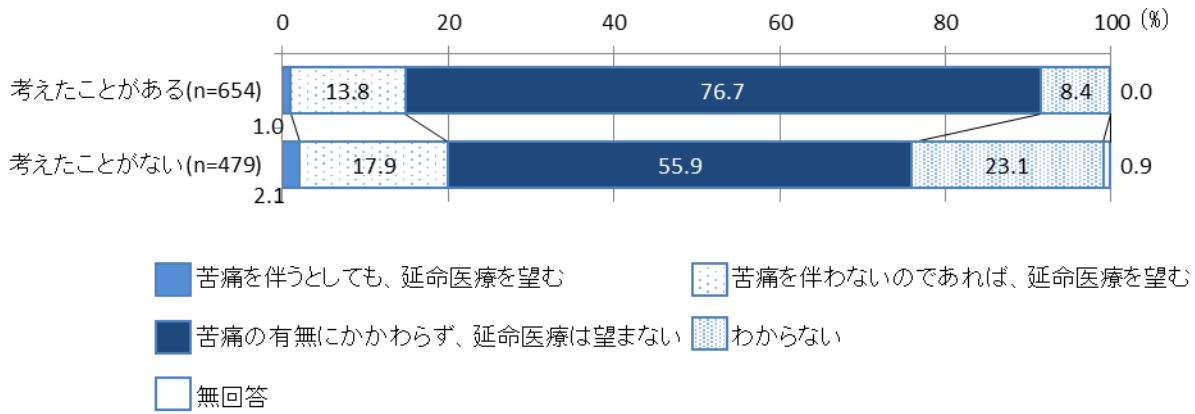
「苦痛を伴わないのであれば、延命治療を望む」(前年度差▲0.9)

「わからない」(前年度差▲0.1)

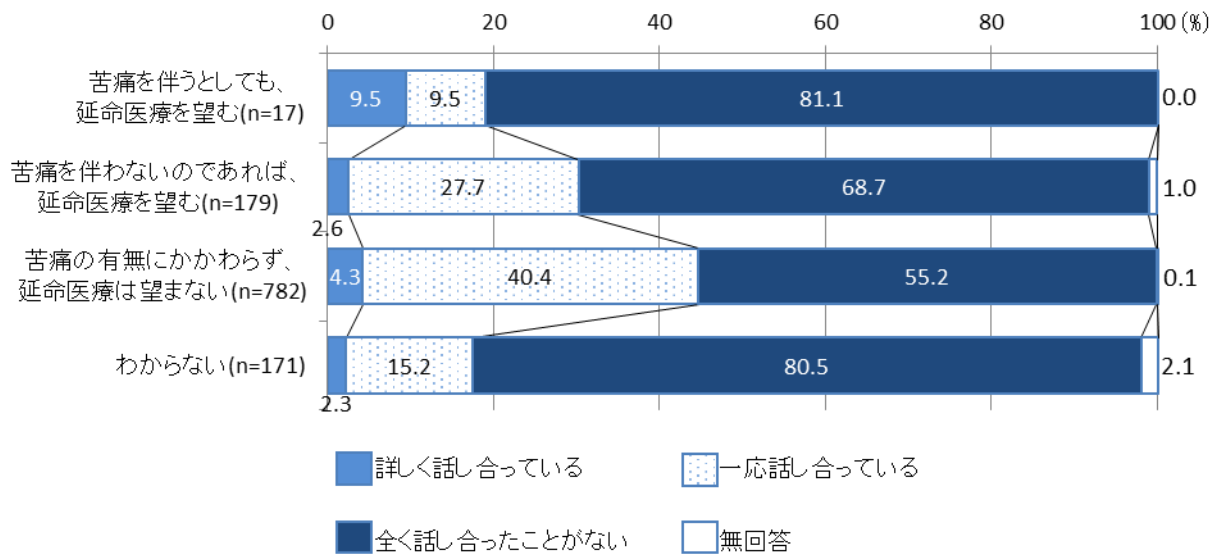
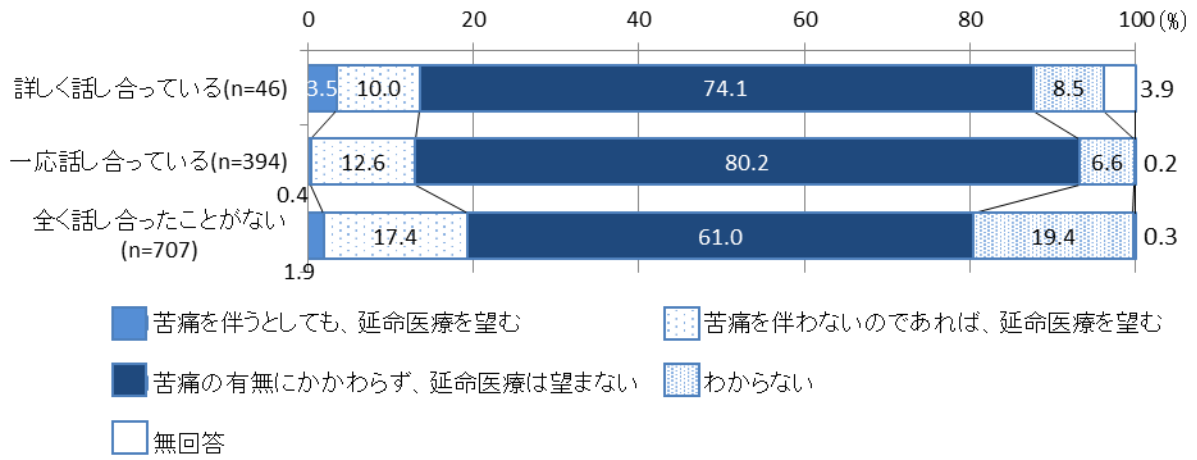
<問 23 とのクロス集計>



<問 24 とのクロス集計>



<問 25 とのクロス集計>



## 【余命が短い場合の延命医療の意向】

(%)

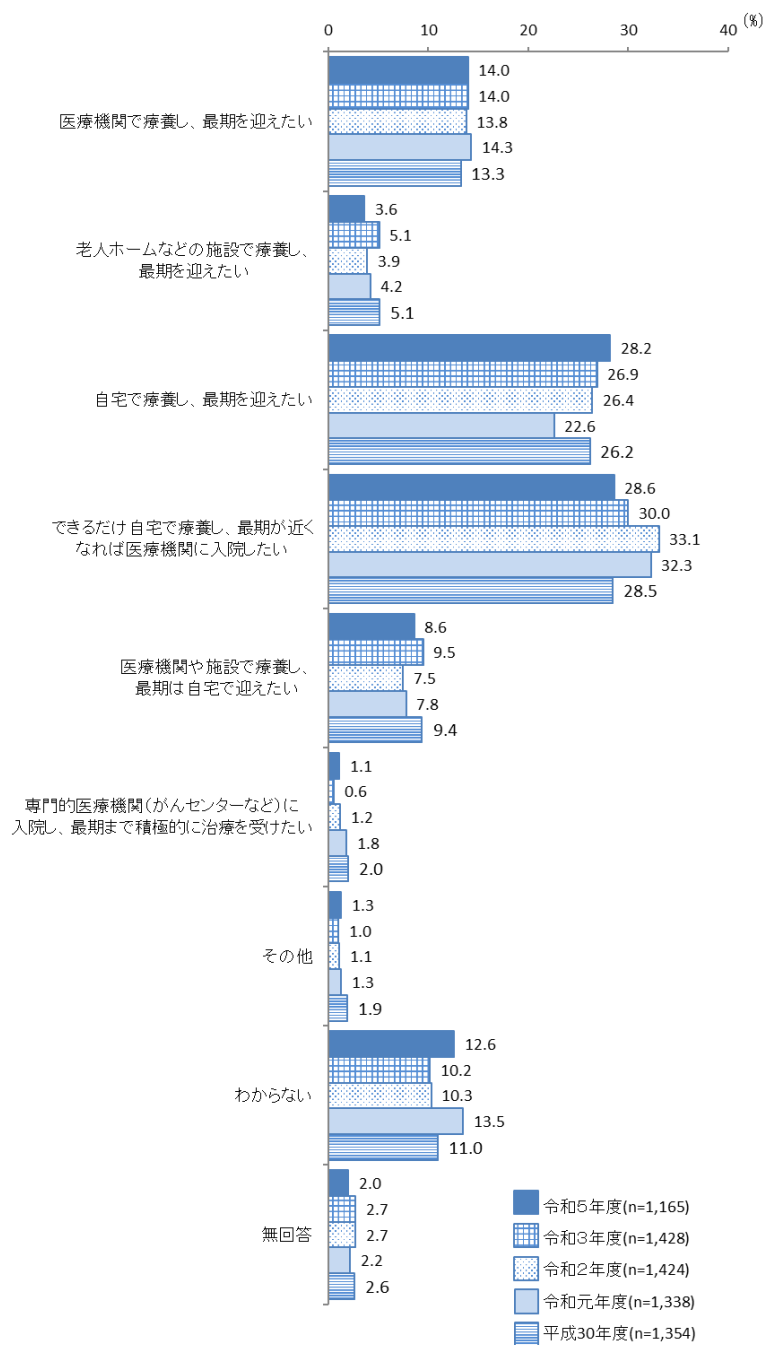
	全体	も、苦痛を伴う延命医療を望む	望む あれば、延命医療を望む	苦痛を伴わない延命医療は望まない	苦痛の有無にかかわらず、延命医療は望まない	わからない	無回答
全体	全体 n= 1,165	1.4	15.3	67.1	14.6	1.5	
性別	男性 n= 478	1.5	16.0	63.1	17.6	1.8	
	女性 n= 673	1.5	14.7	70.3	12.4	1.1	
年齢階層	10代 n= 28	6.3	37.5	25.0	31.3	-	
	20代 n= 130	2.7	21.6	55.4	18.9	1.4	
	30代 n= 145	3.1	20.9	56.6	19.4	-	
	40代 n= 190	0.6	20.0	66.5	11.8	1.2	
	50代 n= 165	1.2	17.0	66.7	15.2	-	
	60代 n= 173	-	11.9	73.1	13.5	1.6	
	70代以上 n= 331	1.2	7.0	77.3	11.3	3.1	
年齢階層 (再掲)	60代以上 n= 504	0.8	8.7	75.9	12.1	2.6	
世帯構成	ひとり暮らし n= 143	0.6	12.9	63.7	17.9	4.9	
	夫婦のみ n= 283	1.5	10.6	74.7	11.8	1.5	
	親・子の二世帯 n= 582	1.5	19.6	64.5	13.7	0.6	
	親・子・孫の三世帯 n= 122	2.4	11.0	65.0	21.0	0.7	
	その他 n= 26	-	10.2	63.0	23.7	3.1	
同居の子ども	子どもがいる n= 502	1.7	16.0	67.2	13.8	1.3	
	子どもはいない n= 603	1.4	15.2	66.9	15.1	1.4	
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 557	2.1	15.0	68.9	12.5	1.6	
	備中地域 n= 450	0.7	15.7	66.6	15.9	1.0	
	美作地域 n= 146	1.4	16.2	61.6	19.1	1.7	
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 557	2.1	15.0	68.9	12.5	1.6	
	県南西部 n= 408	0.8	15.4	66.2	16.4	1.1	
	高梁・新見 n= 42	-	18.7	70.5	10.8	-	
	真庭 n= 37	-	23.0	57.9	16.9	2.1	
	津山・英田 n= 109	1.8	13.8	62.9	19.9	1.6	
居住年数	5年未満 n= 59	1.9	19.3	57.9	16.4	4.5	
	5年以上10年未満 n= 41	-	20.9	65.5	13.6	-	
	10年以上20年未満 n= 125	3.7	23.3	53.8	19.2	-	
	20年以上 n= 931	1.2	13.9	69.5	13.9	1.5	
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 89	2.4	9.2	73.5	14.0	0.9	
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 392	1.0	17.8	61.1	19.4	0.7	
	会社・団体などの役員 n= 31	-	6.1	76.2	17.7	-	
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 201	2.0	17.3	67.4	12.3	1.0	
	専業主婦(主夫) n= 122	-	13.3	74.4	11.0	1.3	
	学生 n= 43	8.1	44.7	24.3	18.8	4.1	
	無職 n= 274	1.2	10.2	75.6	10.7	2.4	

### ○余命が短い場合の延命医療の意向について

全体では「苦痛の有無にかかわらず、延命医療は望まない」との回答が6割台半ばと最も高くなっている。年齢階層別にみると、20代以上では「苦痛の有無にかかわらず、延命医療は望まない」との回答が最も高くなっているが、10代では「苦痛を伴わないのであれば、延命治療を望む」との回答が最も高くなっている。

職業別にみると、学生では「苦痛を伴わないのであれば、延命治療を望む」との回答が最も高く、その他の職業では「苦痛の有無にかかわらず、延命治療は望まない」との回答が最も高くなっている。

■問 27 あなたの余命が残り少ない（6ヶ月より短い期間）と告げられた場合、どこで療養し、最期を迎えたいですか。最もあてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

「自宅で療養し、最期を迎えたい」(前年度差 1.3)

「専門的医療機関(がんセンターなど)に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい」  
(前年度差 0.5)

「その他」(前年度差 0.3)

「わからない」(前年度差 2.4)

◆低下

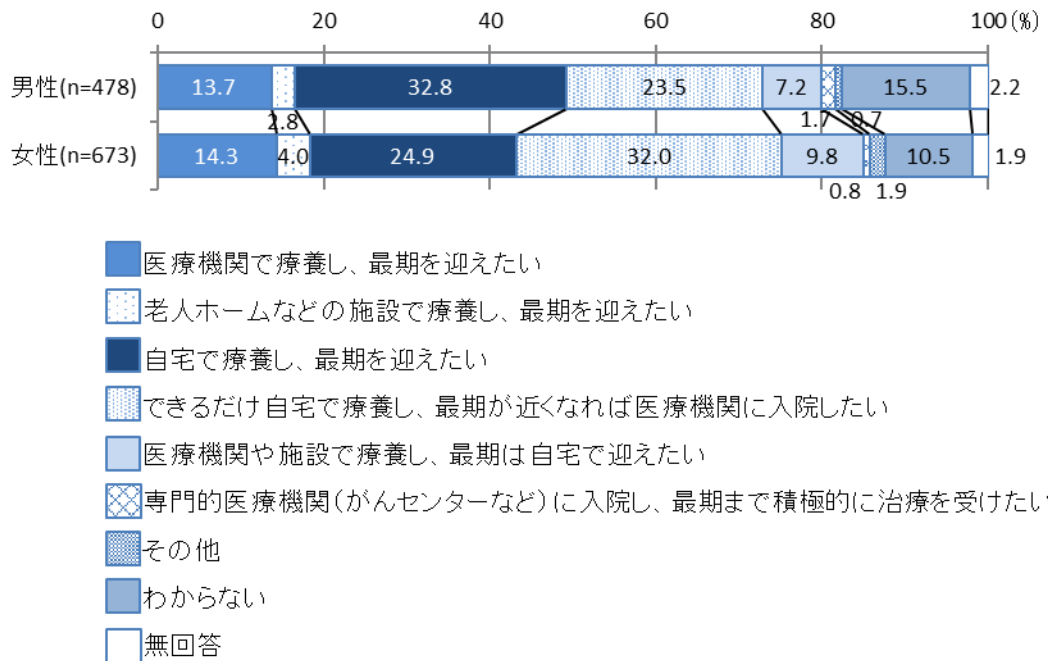
「老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい」(前年度差▲1.5)

「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」(前年度差▲1.4)

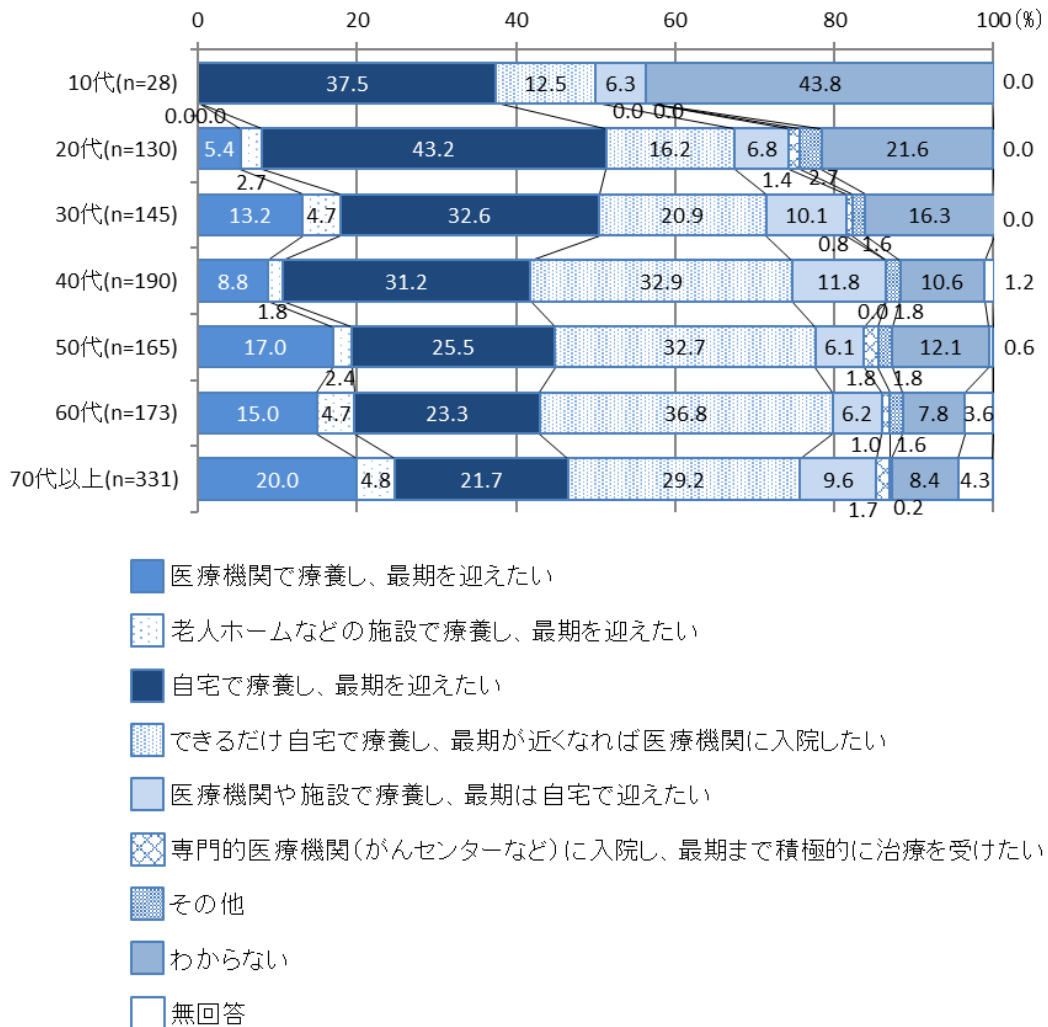
「医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい」(前年度差▲0.9)



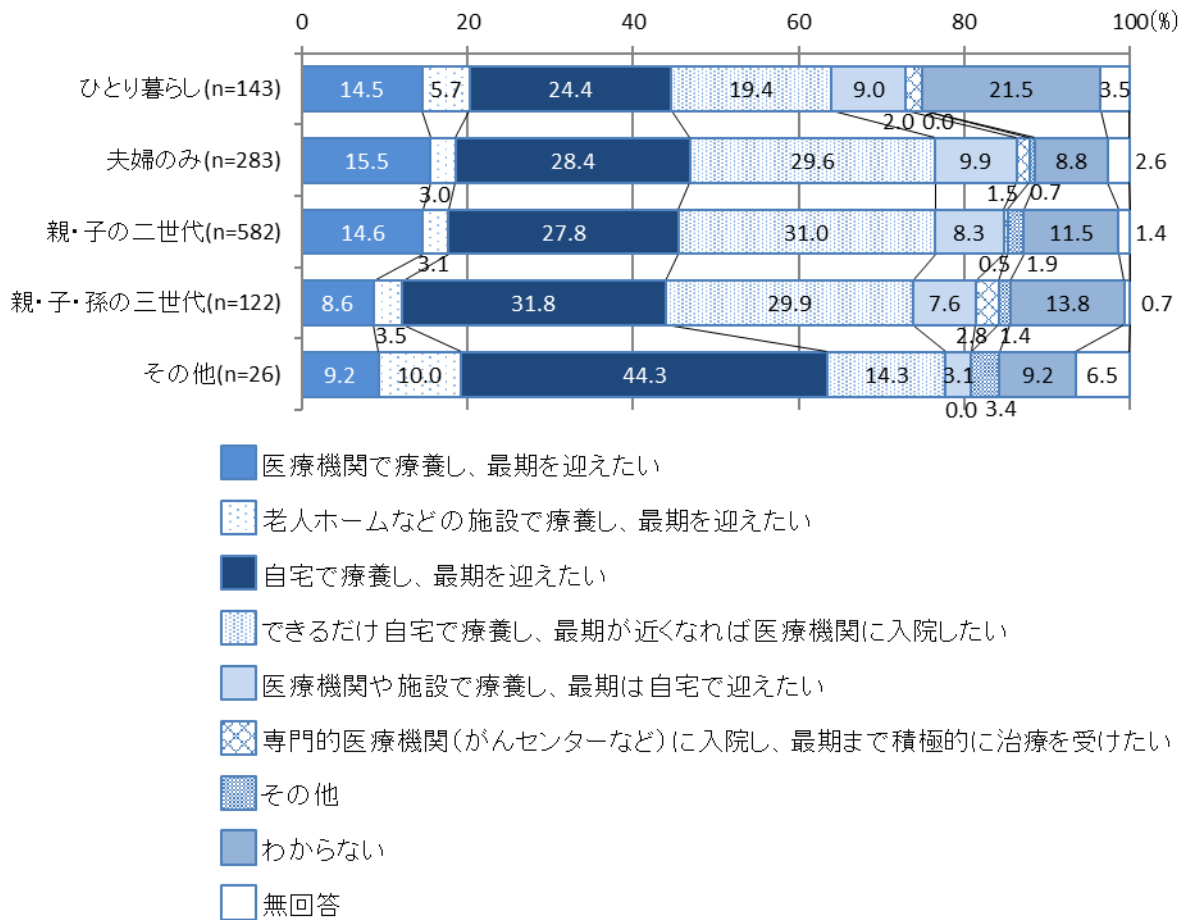
<性別>



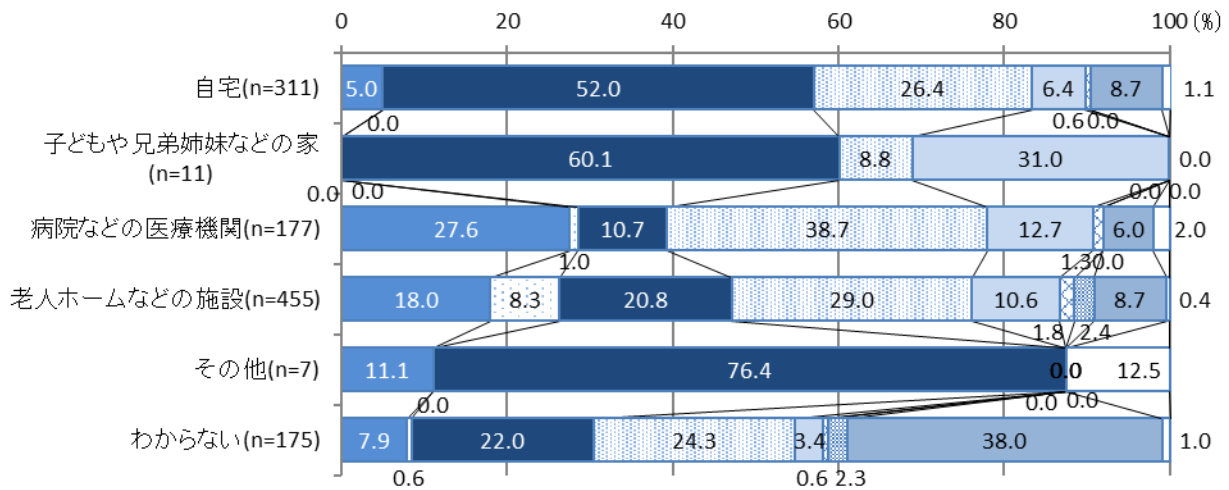
<年齢階層別>



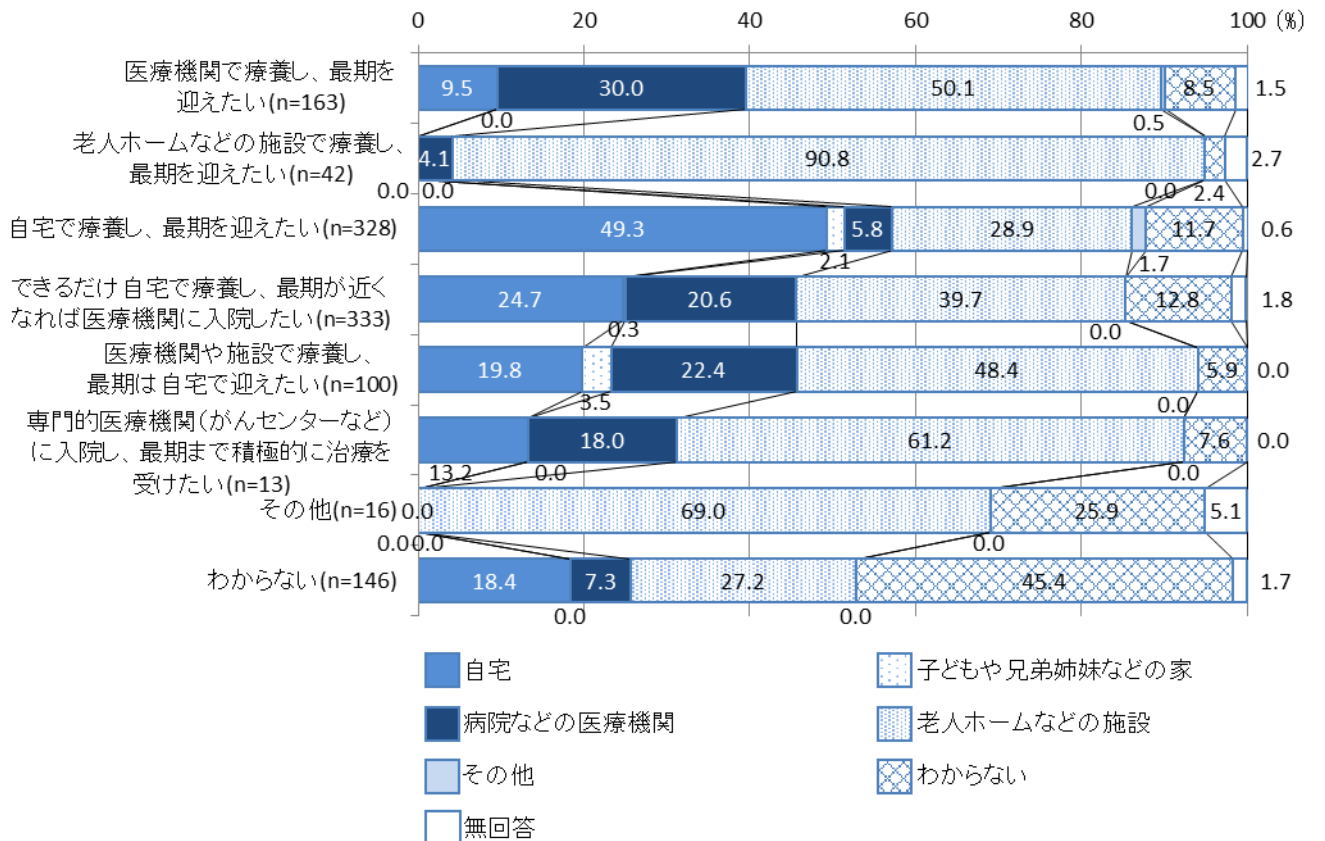
<世帯構成別>



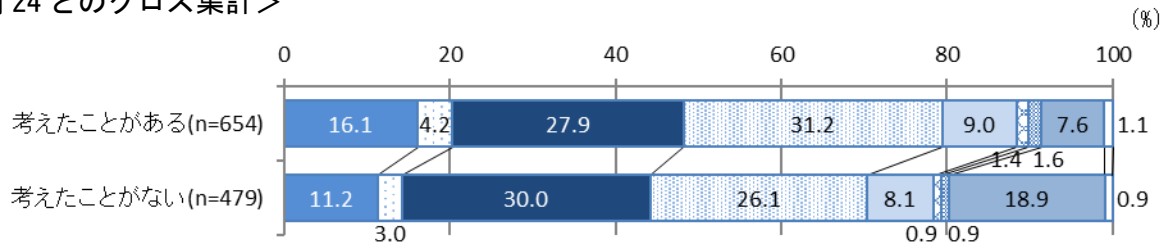
<問 23 とのクロス集計>



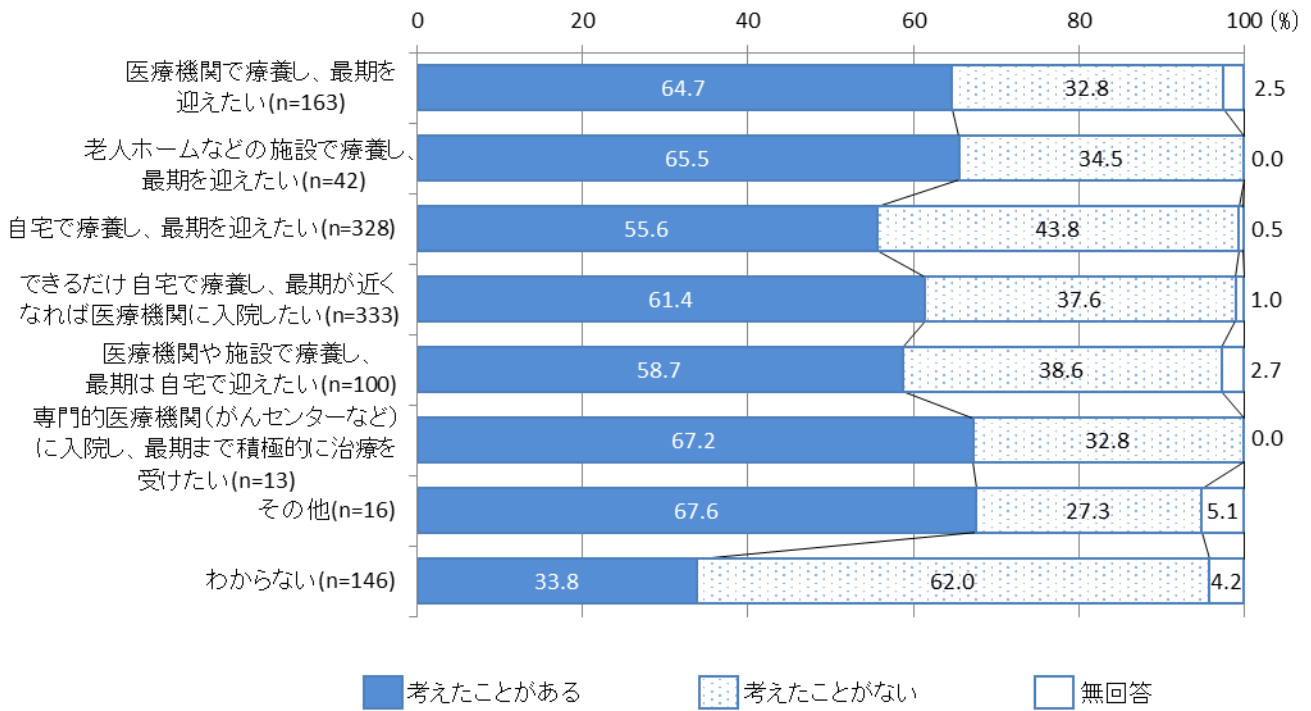
- 医療機関で療養し、最期を迎えたい
- 老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい
- 自宅で療養し、最期を迎えたい
- できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい
- 医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい
- 専門的医療機関(がんセンターなど)に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい
- その他
- わからない
- 無回答



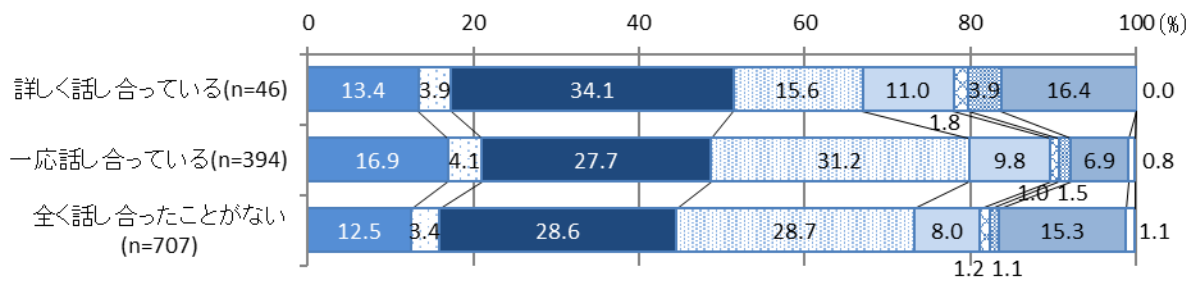
<問 24 とのクロス集計>



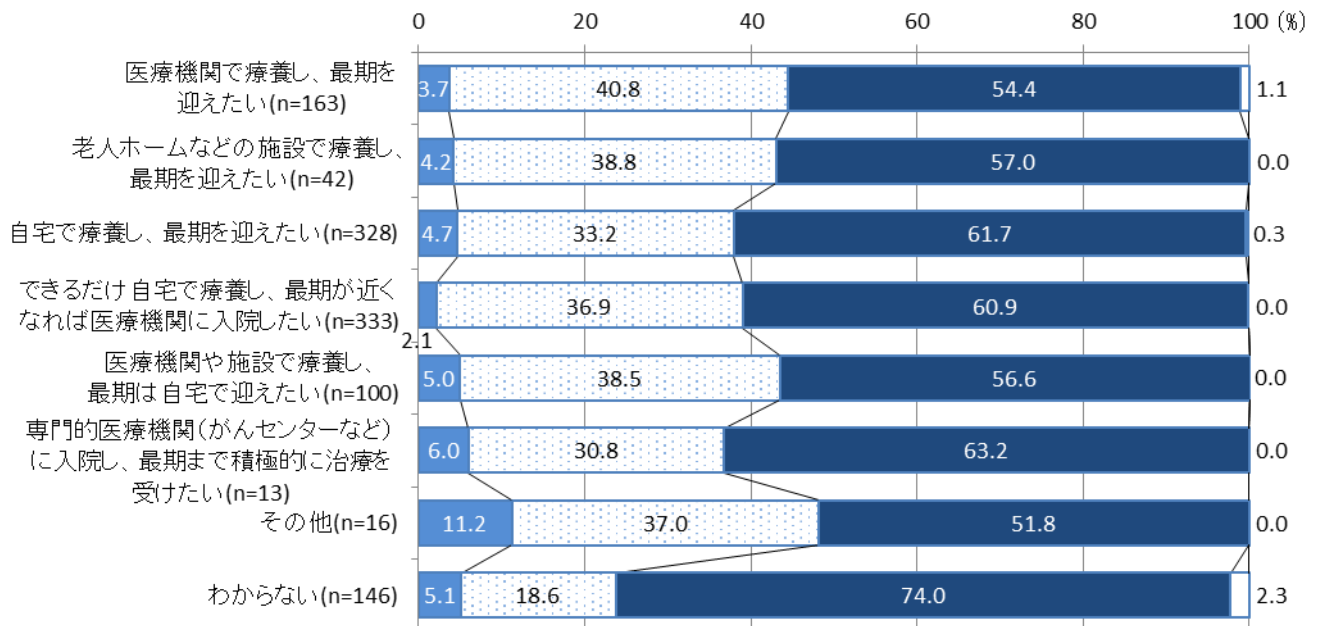
- 医療機関で療養し、最期を迎えたい
- 老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい
- 自宅で療養し、最期を迎えたい
- できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい
- 医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい
- 専門的医療機関(がんセンターなど)に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい
- その他
- わからない
- 無回答



<問 25 とのクロス集計>

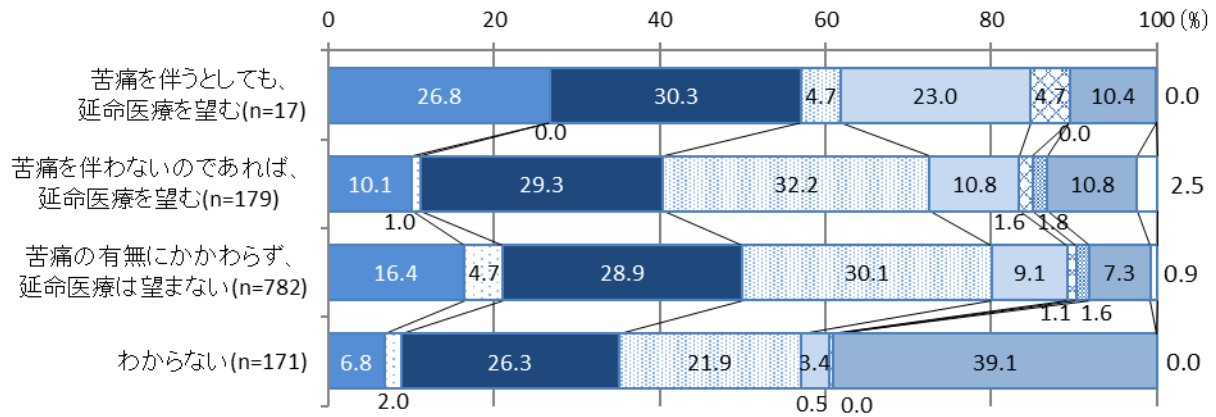


- 医療機関で療養し、最期を迎えたい
- 老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい
- 自宅で療養し、最期を迎えたい
- できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい
- 医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい
- 専門的医療機関(がんセンターなど)に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい
- その他
- わからない
- 無回答

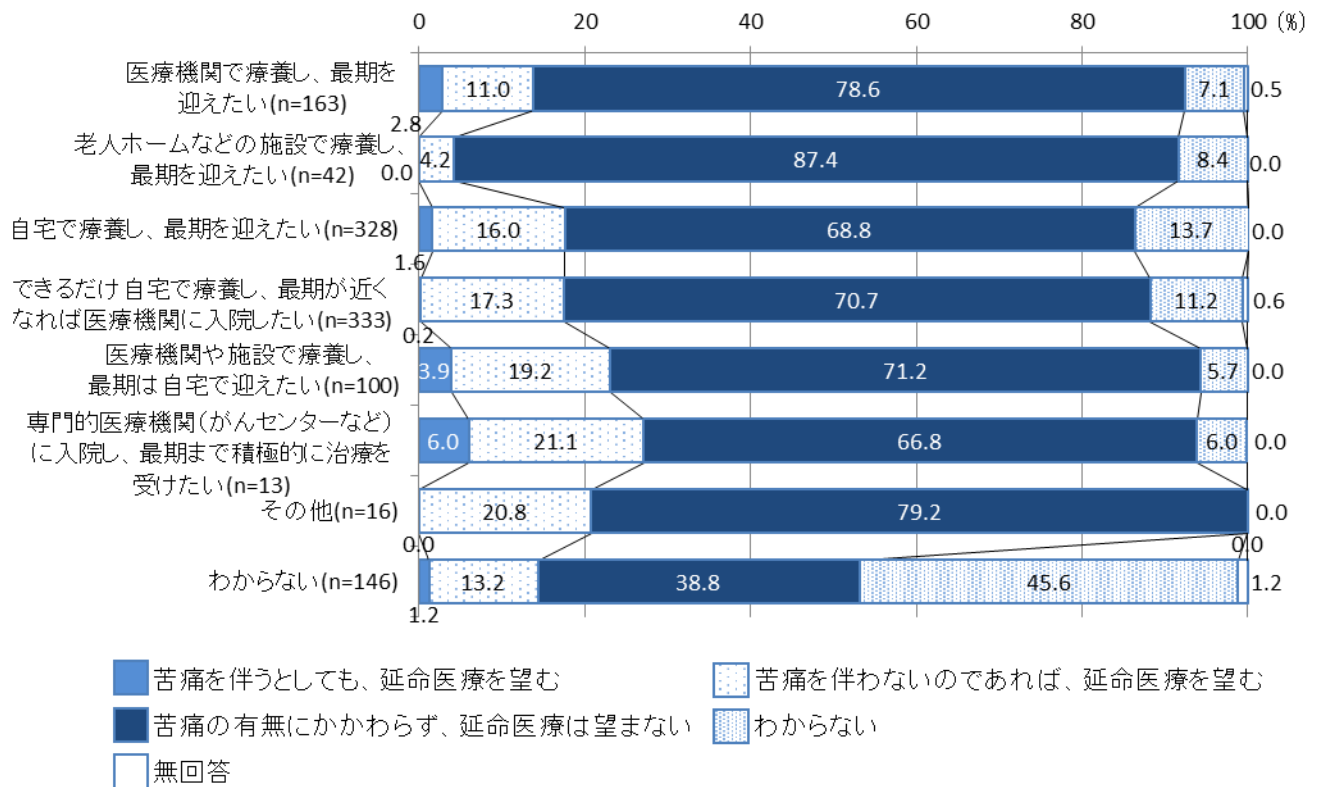


- 詳しく話し合っている
- 一応話し合っている
- 全く話し合ったことがない
- 無回答

<問 26 とのクロス集計>



- 医療機関で療養し、最期を迎えたい
- 老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい
- 自宅で療養し、最期を迎えたい
- できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい
- 医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい
- 専門的医療機関(がんセンターなど)に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい
- その他
- わからない
- 無回答



- 苦痛を伴うとしても、延命医療を望む
- 苦痛を伴わないのであれば、延命医療を望む
- 苦痛の有無にかかわらず、延命医療は望まない
- わからない
- 無回答

### 【余命が短い場合に療養・最期を迎えたい場所】

(96)

全体		医療機関で療養し、最期を迎えたい	老人ホームなどの施設で療養し、最期を迎えたい	自宅で療養し、最期を迎えたい	できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい	医療機関や施設で療養し、最期は自宅で迎えたい	専門的医療機関（がんセンターなど）に入院し、最期まで積極的に治療を受けたい	その他	わからない	無回答
全体	全体 n= 1,165	14.0	3.6	28.2	28.6	8.6	1.1	1.3	12.6	2.0
性別	男性 n= 478	13.7	2.8	32.8	23.5	7.2	1.7	0.7	15.5	2.2
	女性 n= 673	14.3	4.0	24.9	32.0	9.8	0.8	1.9	10.5	1.9
年齢階層	10代 n= 28	-	-	37.5	12.5	6.3	-	-	43.8	-
	20代 n= 130	5.4	2.7	43.2	16.2	6.8	1.4	2.7	21.6	-
	30代 n= 145	13.2	4.7	32.6	20.9	10.1	0.8	1.6	16.3	-
	40代 n= 190	8.8	1.8	31.2	32.9	11.8	-	1.8	10.6	1.2
	50代 n= 165	17.0	2.4	25.5	32.7	6.1	1.8	1.8	12.1	0.6
	60代 n= 173	15.0	4.7	23.3	36.8	6.2	1.0	1.6	7.8	3.6
年齢階層 (再掲)	70代以上 n= 331	20.0	4.8	21.7	29.2	9.6	1.7	0.2	8.4	4.3
世帯構成	60代以上 n= 504	18.3	4.8	22.2	31.8	8.5	1.5	0.7	8.2	4.1
	ひとり暮らし n= 143	14.5	5.7	24.4	19.4	9.0	2.0	-	21.5	3.5
	夫婦のみ n= 283	15.5	3.0	28.4	29.6	9.9	1.5	0.7	8.8	2.6
	親・子の二世帯 n= 582	14.6	3.1	27.8	31.0	8.3	0.5	1.9	11.5	1.4
	親・子・孫の三世帯 n= 122	8.6	3.5	31.8	29.9	7.6	2.8	1.4	13.8	0.7
同居の子ども	その他 n= 26	9.2	10.0	44.3	14.3	3.1	-	3.4	9.2	6.5
	子どもがいる n= 502	13.9	4.0	28.3	30.5	9.1	0.7	1.9	9.5	2.0
居住地域① (県民局)	子どもはいない n= 603	13.7	3.5	28.9	26.6	7.7	1.3	1.0	15.4	2.0
	備前地域 n= 557	12.7	3.9	29.3	29.0	6.8	1.1	2.4	12.6	2.1
	備中地域 n= 450	15.8	3.5	28.2	27.7	10.9	0.9	-	11.2	1.7
居住地域② (医療圏域)	美作地域 n= 146	13.3	2.8	24.9	27.4	8.9	1.9	1.5	16.8	2.4
	県南東部 n= 557	12.7	3.9	29.3	29.0	6.8	1.1	2.4	12.6	2.1
	県南西部 n= 408	15.7	3.7	28.4	26.9	11.3	1.0	-	11.2	1.7
	高梁・新見 n= 42	16.7	2.1	26.2	35.7	6.7	-	-	10.7	1.9
	真庭 n= 37	12.1	4.3	31.0	24.6	12.3	-	-	8.7	7.0
居住年数	津山・英田 n= 109	13.7	2.3	22.8	28.3	7.8	2.6	2.1	19.6	0.8
	5年未満 n= 59	12.5	4.9	44.5	8.1	9.1	-	-	19.4	1.5
	5年以上10年未満 n= 41	5.5	5.0	33.8	31.2	7.1	2.8	-	14.7	-
	10年以上20年未満 n= 125	11.4	1.7	26.4	27.0	12.4	-	-	20.2	0.9
職業	20年以上 n= 931	14.9	3.7	27.1	29.9	8.2	1.3	1.7	11.0	2.2
	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 89	11.1	3.9	32.2	30.6	5.9	1.3	2.1	9.0	3.9
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 392	10.3	1.9	34.0	25.8	8.8	0.7	2.3	15.5	0.7
	会社・団体などの役員 n= 31	16.6	2.6	35.4	21.3	11.9	2.6	-	9.7	-
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 201	11.8	5.5	22.6	34.2	10.2	1.3	2.3	10.5	1.4
	専業主婦(主婦) n= 122	17.1	4.0	22.0	36.4	10.6	2.2	-	5.1	2.7
	学生 n= 43	-	-	44.6	12.1	8.2	-	-	35.0	-
無職 n= 274	21.8	5.1	22.9	28.2	7.2	0.9	-	10.4	3.6	

#### ○余命が短い場合に療養・最期を迎えたい場所について

全体では「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」(28.6%)との回答が最も高く、次いで「自宅で療養し、最期を迎えたい」(28.2%)との回答が多くなっているが、その差は0.4ポイントと大きな差はない。

性別にみると、男性では「自宅で療養し、最期を迎えたい」との回答が最も高く、女性では「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」との回答が最も高い。

年齢階層別にみると、20代と30代では「自宅で療養し、最期を迎えたい」との回答が高く、40代以上では「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」との回答が高くなっている。

職業別にみると、自営業、会社・団体などの正社員、会社・団体などの役員と学生で、「自宅で療養し、最期を迎えたい」との回答が最も高くなっており、学生では「できるだけ自宅で療養し、最期が近くなれば医療機関に入院したい」との回答が約1割程度と他の職業と比べて低くなっている。